

真高寺だより

第11号 平成21年1月1日発行

発行所：真高寺（伊澤孝順住職）

住 所：市原市飯給1143

電 話：0436-96-0058

*発行責任者 根本 貞夫

*編集責任者 木村 孝一



道元禅師のお言葉

「眼横鼻直」(眼は横、鼻は真っ直ぐ)

「ありのままの真実、はたらきこそが仏法である」



謹 賀 新 年

わけんあいご

「和顔愛語の心がけ」

総代会長

根本 貞夫

明けましておめでとうございます。平成21年の今年も、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、私は昨年6月まで、「愛語」という言葉が、世の中にあることを全く知りませんでした。確かに文字を見れば、読み方も意味も大体の検討はつきます。既に、昨年夏の真高寺だより（第10号）でご報告致しましたが、昨年米原の大通寺で行われました講習会で、初めて「愛語」という言葉を耳にしました。ところが、その後全く別のところで、「和顔愛語」という言葉を教えられました。和顔は「わがん」でなく「わけん」と発音するのだそうです。この漢字は呉音読みするのだそうでした、この場合「わけん」と読み、「仏説無量寿経」という經典に出てくる言葉だそうです。要は「和やかな顔をして、思いやりのある言葉を言いなさい。このことが一番大事なことなのです。」という意味だそうです。

この一年、共々「和顔愛語」で過ごしましょう。



年頭挨拶

住職
伊澤孝順

新春を迎え、明けましておめでとう御座居ます。檀信徒の皆様には、良き年になりますよう御祈念申し上げます。

昨年より、経済危機が進行し、今年に入っても明るい見通しが期待出来ない年になるかもしれませんが、我々一人ひとりが、慈愛の心をもって、お互い助け合って行かなければならないと思います。

ところで、昨年より皆様の各家先祖代々の戒名等の一覧表を頂き、また過去帳位牌を上げて頂き有難う御座居ました。お陰様で多くの方々が、位牌を上げて頂きました。

この難局を無事過ごせるよう、各家のご先祖様を供養して行きたいと思ひます。

合掌



曹洞宗大本山總持寺参拝と三浦半島三崎城ヶ島の旅

檀信徒の皆様には、益々ご健勝にてお過ごしのことと、お慶びを申し上げます。

さて、例年に倣い平成21年も曹洞宗大本山總持寺に参拝を行いたいと存じます。

本年度は、總持寺にて無病息災を祈願後、三浦半島三崎にてマグロ料理をご堪能頂く旅を企画致しました。檀信徒の皆様には多数お誘い合わせの上、ご参加下さいますようご案内申し上げます。

合掌



【実施要項】

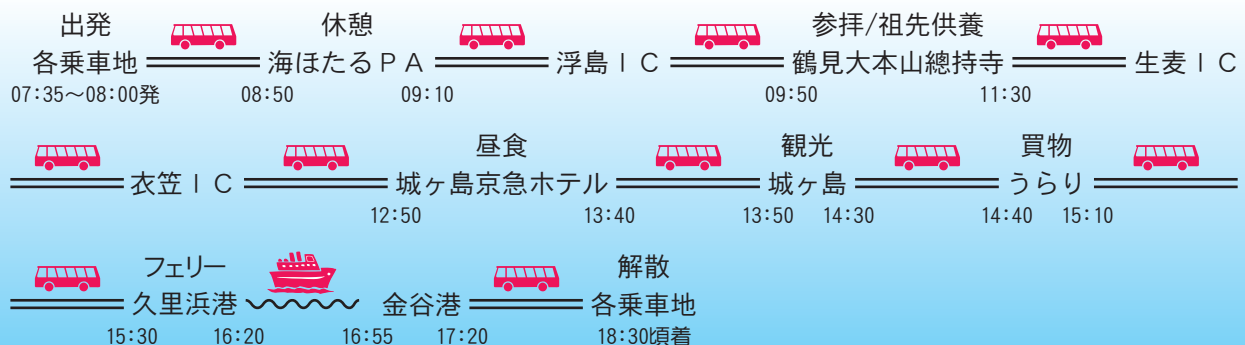
実施期日 平成21年1月18日(日)出発

旅行代金 12,000円
(昨年と同様の旅行費用を含みます)

募集人員 40名(催行人員35名)
(定員になり次第締切りとしますのでお申し込みはお早めをお願いいたします。)

申込方法 参加申込書に旅行費用12,000円を添えて1月10日迄に真高寺へお申し込み下さい。

コース 日帰り



山内あれこれ

まさに陰徳です



一年を通じて参道にいつもお花が絶えないのは、地元の金巻いちさんと加藤美枝さん、そして木村久子さんが折に触れて、季節季節の草花の植え替えや手入れをして下さっているお陰です。長年に渡って人々の為に隠れて行っているお三方の行いは、正に「陰徳」そのものです。

紅葉300本を植えたいね



真高寺は裏山の左右も含め、竹林に覆われています。随分竹も伐採されて少なくはなりましたが、一年手を抜くと直ぐに繁茂します。そこでこの竹林を美しい竹林にしようと、松本金蔵さんと石屋の水村さんが右手奥の竹林から伐採を始めました。「竹を伐って紅葉をもっと植えたいね、取り敢えず30本植えるよ」と笑いながら金蔵さんは抱負を聞かせてくれました。そう言えば連日観光客が来ている、養老溪谷の林道沿いの紅葉も25年前から毎年植え続けたものです。是非、裏山や境内に紅葉300本を植えましょう。

過去帳位牌完成法要を3月に予定

お陰さまで、昨年お願い致しました「各家過去帳位牌」の新規購入に関しまして、根檀家の皆様から150件、また霊園檀家の皆様から79件の申し込みがございました。過去帳整備を2月中に完了させて、3月に完成法要を計画いたします。詳細につきましては改めてご案内申し上げます。

金太郎が来る

テレビ朝日の深夜ドラマ「サラリーマン金太郎」のロケが10月31日に行われました。当日は朝7時から10時まで、主演の永井大さんを始め、約30名のスタッフが見えました。また檀家の皆さんなども見物に来られ、午前中は大変賑わいました。ご覧になった方もいるかもしれませんが、この日撮影されたものは、11月14日に放映されました。

来山客が増えています

山門改築以来、真高寺に参拝客が増えるようになりました。ところが増えたのは山門を見に来る人間だけではなく、イノシシも激増しています。数年前より、竹の子やミミズの施しを求めてイノシシが頻繁に裏山から寺へ来訪するようになりました。お陰で専用参道となっている裏山は、まるでトラクターで耕したような状態です。住職さんがイノシシ年だからかどうかは知りませんが、とにかくイノシシが増えています。でも総代役員の中にもイノシシ年が3人居ますが、それで増えたのでしょうか？



これぞ和合共生の鏡です

本堂左手脇の庭に杉の木の手切り株があります。既に苔に覆われていますが、その切り株から、共に同じ背丈の杉の木と桧が元気よく育っています。近い将来、必ず真高寺の和合共生の鏡として、保存樹になること請け合いです。夫婦仲のよろしい住職夫妻にあやかっただのではとの話も…。



1月10日に公開です



道元禅師の生涯を描く歴史ロマン映画「禅 ZEN」が公開されます。時は鎌倉時代、「只管打坐（しかんたざ）」の考えに目覚め、大宗国（中国）での修業より道元禅師は帰国します。道元は禅の教えを広めようと、困窮する人々にも権力者にも分け隔てなく、出会った人々に真の教えを説いて行く。主演に中村勘太郎、ヒロインに内田有紀、他に藤原竜也、笹野高史、高橋恵子など豪華俳優陣です。なお原作は大谷哲夫氏の「永平の風、道元の生涯」、監督は「丘を越えて」の高橋伴明氏。

県の文化財指定も検討

お陰さまで山門が創建当時の姿を取り戻すことが出来ました。そこで県の文化財指定も視野に入れて、建築様式や波の伊八の彫刻など、真高寺山門全体が、より多くの皆さんに知られるように取り組んでまいります。



皆様のご意見・ご要望をお寄せ下さい。

真高寺では皆様からの、ご意見ご要望を出来るだけ多く取り入れながら、寺院運営をしていきたいと考えております。皆様から頂いたご意見は、全て直近の役員会の議題として提出し、真高寺としての考え方を取りまとめてご回答致します。今後とも、檀家の皆様と一体となりながら、より一層開かれた運営に努めて参ります。宜しくお願い致します。